

芒川
土木遺産

〔地質〕 福島盆地周辺には、半固結堆積物、固結堆積物、火山性堆積物及び先第三紀の結晶片岩、深成岩等からなる丘陵や山地が分布し、盆地西側山地は、東吾妻火山起源の洪積世から沖積世の各種の堆積物が広く分布発達しています。基盤には、緑色凝灰岩、砂岩、泥岩などからなる第三紀の固結堆積物の火山性堆積物が分布しています。

〔気候〕 福島市は、奥羽山脈と阿武隈山地に囲まれた盆地状の地形が作用し、昼夜の差が大きい、典型的な内陸性気候の地域です。

気候 福島市は、奥羽山脈と阿武隈山地に囲まれた盆地状の地形が作用し、昼夜の差が大きく、典型的な内陸性気候の地域です。

寒暖の差が大きい典型的な内陸性気候の地域です。年間降水量は千百ミリメートル程度となっており、福島県内では比較的乾燥する地域です。

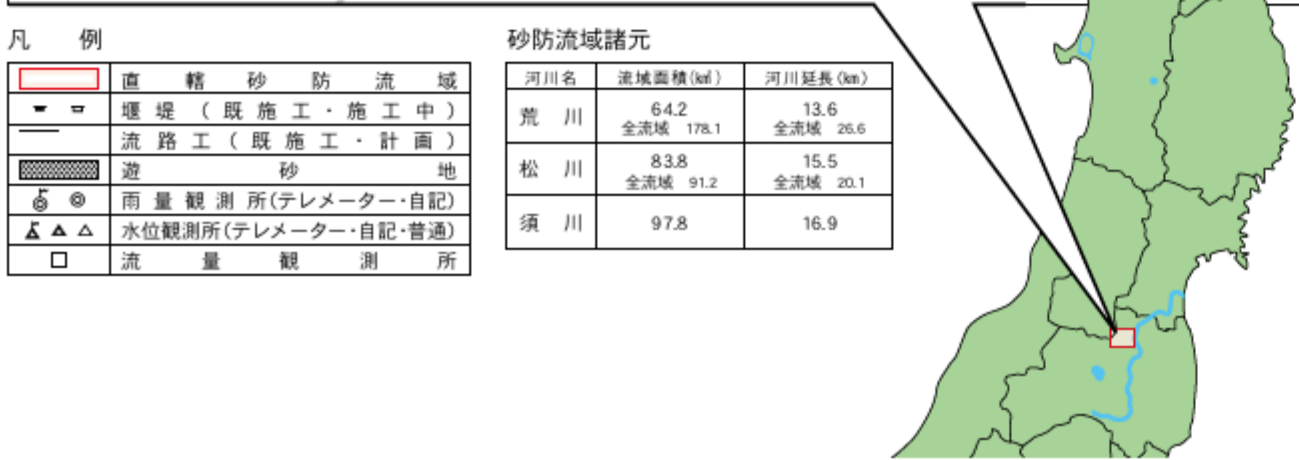
「水質」

河川の水質を示す指標となる生物化学的酸素要求量(BOD)の「年平均値」を主な基準とした水質調査で、平成二十二年[※]度から十二年連続[※]で「水質が最も良好な河川」になりました。この調査は、国が管理する全国百五十九の一級河川を対象に実施して国土交通省が毎年実施しているもので、十二年連続[※]での「水質が最も良好な河川」の維持は、流域の人々の河川愛護意識の高揚、官民一体での水質改善への取り組みの成果と考えられます。

[※]令和四年七月一日時点

令和四年七月一日時点

福島河川国道事務所では荒川のほか、隣接する須川と松川流域でも砂防事業を進めています。



凡 例	
	直 轄 砂 防 流 域
	堰 堤 (既 施 工 ・ 施 工 中)
	流 路 工 (既 施 工 ・ 計 画)
	遊 砂 地
	雨 量 観 測 所 (テ レ メ ー タ ー ・ 自 記)
	水 位 観 測 所 (テ レ メ ー タ ー ・ 自 記 ・ 普 通)
	流 量 観 測 所

河川名	流域面積 (km ²)	河川延長 (km)
荒 川	64.2 全流域 178.1	13.6 全流域 26.6
松 川	83.8 全流域 91.2	15.5 全流域 20.1
須 川	97.8	16.9